

東北地方 1か月予報

(5月25日から6月24日までの天候見通し)

平成14年5月24日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。
天気はおおむね周期的に変わるでしょう。前半は、高気圧に覆われ晴れる日が多くなりますが、後半は、低気圧や前線の影響で、天気がぐずつく時期があるでしょう。

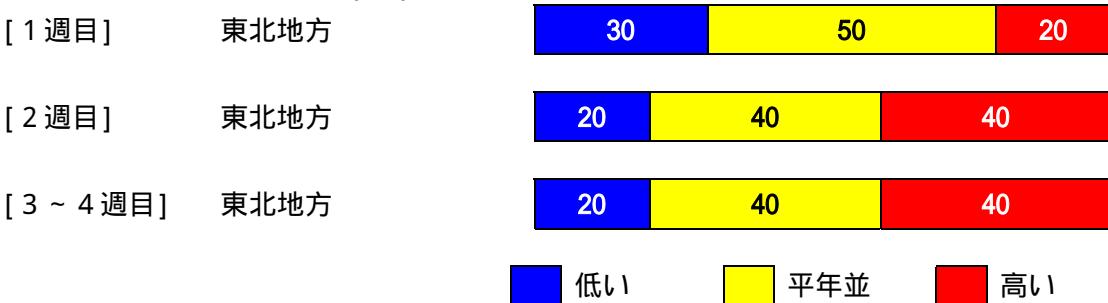
向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。降水量は平年並か少ない見込みです。日照時間は、平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目と3～4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月25日(土)～6月24日(月)
1週目 : 5月25日(土)～5月31日(金)
2週目 : 6月 1日(土)～6月 7日(金)
3～4週目 : 6月 8日(土)～6月21日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は5月31日
3か月予報：6月20日(木)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温(℃)		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	16.6	160.8	171.7	15.2	16.2	17.3
新庄	17.9	113.5	172.8	16.2	17.5	18.7
若松	19.1	92.8	181.2	17.4	18.7	19.9
深浦	16.4	106.8	196.0	14.7	15.9	17.1
青森	16.3	80.7	198.4	14.8	15.8	16.9
むつ	14.9	106.1	183.8	13.6	14.5	15.5
八戸	15.6	94.8	188.6	14.4	15.2	16.1
秋田	18.0	119.1	195.5	16.0	17.4	18.8
盛岡	17.4	107.8	171.7	15.7	16.9	18.2
宮古	15.5	106.5	162.2	14.3	15.1	16.0
酒田	18.5	113.9	196.4	16.7	18.1	19.3
山形	18.9	86.5	179.0	17.3	18.5	19.6
仙台	17.7	118.1	156.3	16.5	17.4	18.3
石巻	17.0	97.2	170.8	15.6	16.6	17.6
福島	19.4	96.5	158.2	18.2	19.1	20.0
白河	17.8	147.5	149.0	16.5	17.6	18.4
小名浜	17.7	134.2	163.9	16.4	17.3	18.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.3	84~109	92~107
東北日本海側	-0.5~+0.2	79~115	96~107
東北太平洋側	-0.5~+0.4	82~108	89~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.7~+0.6	-0.5~+0.4
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.5	-0.5~+0.3
東北太平洋側	-0.7~+0.7	-0.7~+0.7	-0.6~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めています(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年5月24日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月25日~6月24日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。前半は、高気圧に覆われ晴れる日が多くなりますが、後半は、低気圧や前線の影響で、天気がぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(5月25日~5月31日) :

期間の初めは気圧の谷の影響で、東北北部では天気のくずれる所がありますが、そのほかは高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(6月1日~6月7日) :

天気はおおむね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(6月8日~6月21日) :

天気はおおむね周期的に変わりますが、低気圧や前線の影響で、天気がぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

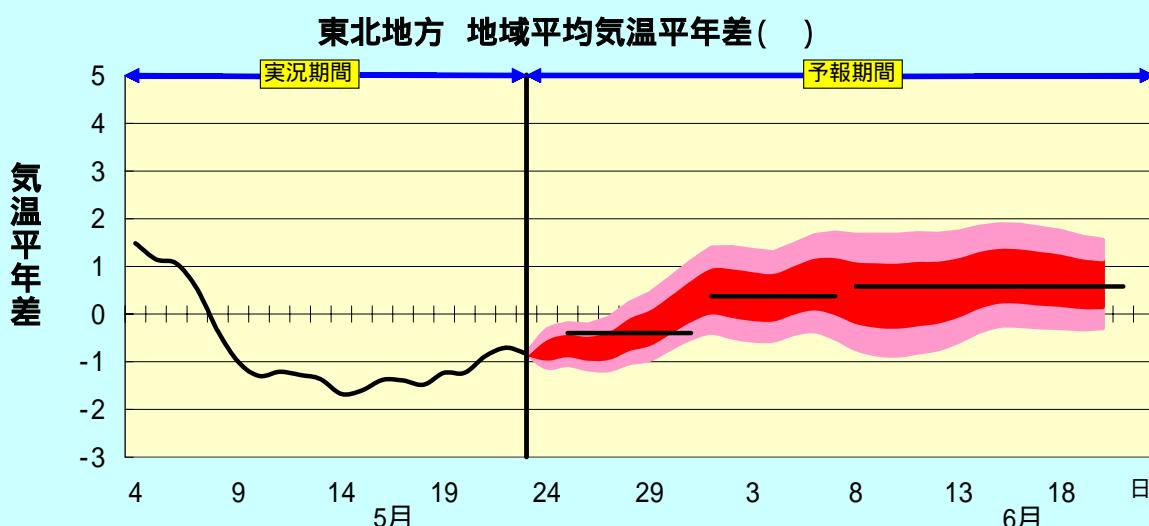
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.1日	4.4日	4.1日	6.6日
東北太平洋側	13.5日	4.2日	3.7日	5.6日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

気温は、1週目、2週目が「平年並」、3~4週目が「高い」を予測している。

予報は、その他の資料から2週目と3~4週目をそれぞれ「平年並か高い」とする他は、予測どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



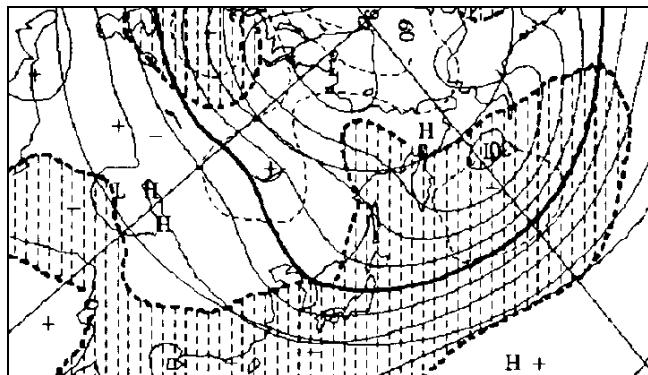
* 実況期間(図の左側)の太い実線: 東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)

と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

* 水平な3本の実線: 予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

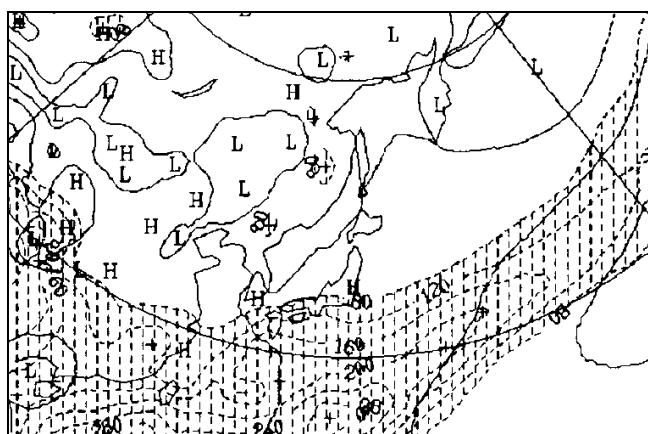
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、北部太平洋に中心を持つ負偏差域が日本付近に広がり、東シベリアから中国東北区は正偏差域となっている。このため北日本では、平年に比べ低気圧が発達しにくい大気の流れとなる。

週別（図略）では、月平均での正・負偏差の特徴が1週目に最も明瞭。2週目以降は、次第に平年の高度分布に近づく見込み。



地上気圧と降水量

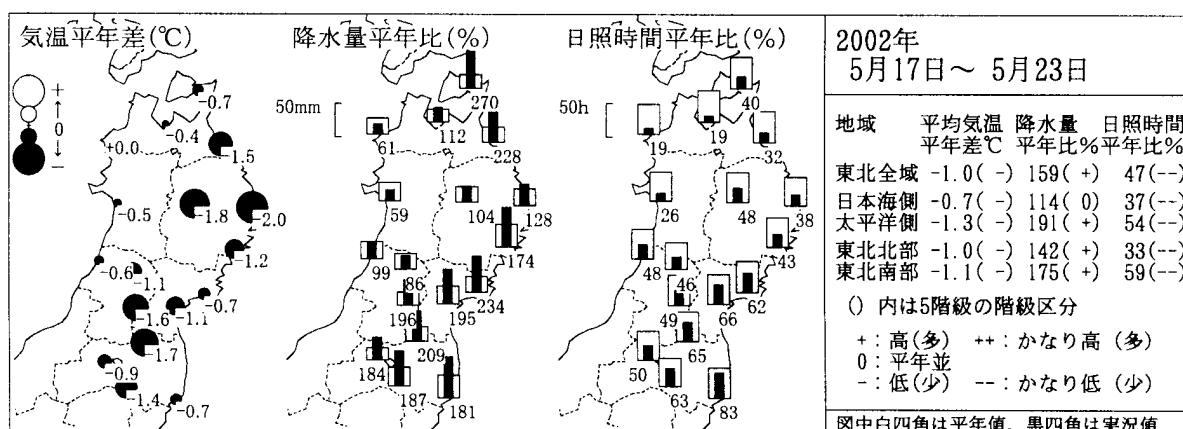
月平均で見ると、日本付近の等圧線はまばらで、北日本は東海上から緩やかに高気圧に覆われる。降水域は日本の南海上が中心。

週別（図略）では、1週目は高気圧に覆われて晴れやすく、2週目まで東北地方にまとまった降水域は見られない。3~4週目に、前線対応の降水域が次第に北上して、東北地方までかかる予想。

4. 最近1週間（5月17日～5月23日）の天候の経過

この期間、動きの遅い低気圧や上空の寒気の影響で、曇りや雨の日が多かった。特に、18日は東北太平洋側を中心にまとまった雨となった。

平均気温は、東北地方で平年差-1.0と低かった。降水量は、東北日本海側で平年比114%と平年並、東北太平洋側で平年比191%と多かった。日照時間は、東北地方で平年比47%とかなり少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）